

一般社団法人 佐賀青年会議所

2021年度 2月理事会

日 時 2021年 2月 2日(火)

時 間 19:30~21:30

場 所 WEB(Zoom)

1. 開会の辞

副理事長 渡邊 雅夫 君

2. JCI Creed 唱和

委員長 畠中 隆嘉 君

3. JCI Mission 並びに JCI Vision 唱和

委員長 舟津 和弥 君

4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和

委員長 松尾 陽介 君

5. 議事録作成人及び署名人の指名

議事録作成人 総務委員会

署名人 委員長 畠中 隆嘉 君

署名人 委員長 舟津 和弥 君

6. 前回議事録の承認

7. 理事長挨拶

理事長 古川健太郎 君

皆さまお疲れさまです。新年会及び総務委員会、菱岡委員長をはじめとする65周年委員会の皆さま、本当にお疲れさまでした。菱岡委員長が新年会にて自分を盛り上げようとして、昨年から事業構築をされていろいろ考えておられましたが、残念ながらWebでの開催とはなりましたが、しっかりと式典の方は開催できたのではないかと思っています。ありがとうございました。ただ、あとでFacebookの動画を見たら自分の挨拶がぐだぐだ過ぎて本当恥ずかしかったです。すみませんでした。

そして、急にではございましたが65周年の提言に対するアンケートを作つて頂きました。急なことだったのですが、本当に1日で早急に島内副理事長を中心にアンケートを作つて頂き、本当にありがとうございました。このアンケートは皆さまの事業構築をする上でも、何かヒントになることがあると思いますので、是非一度目を通していただければと思います。

さて、2月になりましたが未だコロナの収束が見えず、自粛要請も東京の方では延長になつたりという声も聞かれています。飲食店の方々は悩むところがあるかと思います。佐賀の方は自粛の延長はないようなので、なんとかほつとをしているところでした。このような中、メンバー同士も集まれない中で仮新入会員さん達との交流が全く出来な

い状況ではあります。また、委員会などは夜とかが集まりにくいというような声があつたら、昼間とかでも開催してもらつてもいいのではないかとは思っていますので、是非みんなが集まれるときに委員会なども開催して頂けたらと思っています。そして、交流と言つたら何回も言っておりますが、組織図にはないJCには交流というものがあります。昨年までの先輩後輩の繋がり、そういう繋がりでの集まりというのが多々行われております。是非そのようなことも今のこの状況、公式ではなかなか集まれない中、そのような集まりを昼間等に開催してもらって、なかなか夜は集まれないでしょうから、本当に昼間等を利用して是非みんなで集まる場を作つてもらって頂けたらと思います。

結びになりますが、コロナも皆さん自分たちの身近に近づいてきて、いつなつてもおかしくないような状況になつてきておりますので、皆さん自己管理の方を徹底して、今からも事業構築などを行つて頂きたいと思います。本日も一日よろしくお願ひいたします。

8. 直前理事長挨拶

直前理事長 西村祐二郎 君

皆さん、こんばんは。まず、この場をお借りして言うことではないのかもしれません、先日私がＳＮＳで鉢盛りの事を少し発信させていただきました。そしてJCの多くの皆様にご注文、ご協力頂き、本当にありがとうございました。大変心が温まり、皆さんから協力していただいた事を本当に感謝しております。またそのお陰で私自身も、このようなコロナの状況で沈んでいる部分がありましたが、2月8日からしっかりと頑張っていこうと元気を皆からいただきました。本当にありがとうございました。

また、総会の時にダイエットの話をさせていただいたかと思いますが、実際にあれから3キロ落としています。そのような事が出来たのは習慣を大切にしたからだと思います。年始から始めた事ですが、1つ1つの習慣を大切にすることで自分の中の心や頭がすっきりし、それが現在のこの状況に繋がっていると思っています。まだ今は食事制限しかしておりませんが、その中でこれだけ体重を落とす事が出来ました。これからは運動もしながら自己管理、体調管理をしていけたらなと思っています。また総会の時の話になりますが、少し頭痛がし、ボーとするなと思い、次の日に血圧を測つてみたところ、高かったんですね。170の130ぐらいありました。しかも頭痛もするのでもしかしたら脳梗塞なのではないかなと心配になり脳神経外科でCTをとって診ていただいたところ、全く何の異常もなく通常通りという事で、ただ、頭痛がするのはパソコンを見たり携帯を見たりで姿勢が悪いというところで、筋肉がつっぱり、頭痛に繋がったという事でした。実際私が40歳を迎えた入りし、昨年の1年間の理事長の疲れ、年末年始の暴飲暴食等がそういったところに繋がっているのではないかと思います。正直自分の健康状態に不安を感じた時は、ちゃんとしないといけないと改めて感じる部分がありました。皆さんはまだそういう部分を感じた事がないのかもしれません、実際そのような事が恐怖に繋がり、ちゃんとしようとなつてるのでそくなならないうちに、皆さんもよかつたら自己管理をしていただけたらなと思います。本当に健康は大事だと思います。

理事長の話の中でもありましたが、やはりコロナの影響で1月2月と振り回されている状況ではあります、古川理事長も今日の理事会は何としても対面で開催したかったという思いが強かったのではないかと思います。しかし皆さんの事を考えたり、置かれている立場であつたり、感染してしまつたらどうしようという不安の中でこういう開催になりました。本当に仕方のないことかもしれませんが佐賀も

だいぶ落ち着いてきたことですし、2月8日から他県が延長になったというのがあるかもしれません。佐賀は上手いことやっていけるというように、佐賀モデルではありませんが、去年は皆さんで考えて、去年はやって色々出来たと思います。今年は若干変わる部分があるかもしれません、その中でもやれる事を模索して行動出来たらなと思っています。そうする事で、また対面でも、しっかりとした安全対策をとて会うことができますし、私も皆さんと会って色々話したいし、ご飯を食べたりお酒を飲んだりしたいし、そのような事が出来ないのがすごくモヤモヤしている状態ではありますが、あと1か月もすれば皆さんとまた会って話せるのではないかなど、楽しみにしています。

この状況の中で委員長さんたちは本当に色々なことを調べてやっているかなきやいけないとすごく複雑な状況ではありますが、何のために、時期のためだと誰かのためにという思い、それが事業につながっていくことを考えていくればと思います。本当に大変だと思いますが、いろいろな人に相談したり、いろんな人に電話など対面でなくとも聞けることはたくさんあると思うんで、どんどんせつかくなんでこの1年間専門的な知識をしっかりと得ていただけたらな、それをまた事業に追加していただけたらな、と思います。

結びになりますが、今度の例会であったり、来月理事会がみんなの対面で開催されることを祈念いたしまして、結びの挨拶とさせていただきます。本日も一日よろしくお願ひいたします。

9. 出席者の確認

総務委員会

10. 議長選出

理事長 古川健太郎 君

11. 当日議題の採択

【審議事項】

■ 第1号議案 2021年度 3月例会開催計画並びに予算(案)承認の件

国際・災害対策委員会

園田副理事長より説明

船津委員長より説明

前回の常任理事会でご指摘ご意見を頂きました、各団体に対しての案内文の作成をしてくださいということで、そちらの方を追加させていただきました。ほかにつきましては大きく変わったことはございません。

原財政局長に代わり溝口常務理事

財政面には特に問題ないことをご報告させていただきます。

全会一致で可決承認

【協議事項】

■ 第1号議案 2021年度 4月例会開催計画並びに予算(案)について

会員研修・ビジネス委員会

(岩永室長)

2021年度4月例会開催計画並びに予算(案)について、こちらの協議を出させて頂いております。
詳しい内容は松尾委員長から宜しくお願ひ致します。

(松尾委員長)

2021年度4月例会開催計画並びに予算(案)についての協議の方を見ていきます。
前回より主にWEBのアンケートの点、それからシナリオの変更、予算案を記載しました。
そして、コロナ対策やWEB開催、テーマについて変更を行ってくれということで変更を行っております。
みなさん慎重なご審議の程宜しくお願ひします。

(川上専務理事)

はい。ありがとうございます。
こちらの議案予算がございますので、溝口常務より予算コメントをお願いします。

(溝口常務理事)

はい。確認の方をさせて頂きましたが、6点指摘がございます。
まず1点目になりますが、予算書の様式3ですね。
こちら模造紙と飲食代ですね、13の雑費になっていますが、こちらは2の企画演出費になりますので、こちらに記載を宜しくお願ひ致します。
2点目、様式4になります。様式4の細目に雑費と予備費と書かれていますが、こちらは空欄のままで大丈夫ですので、削除を宜しくお願ひ致します。
3点目、概要、飲食代と菓子代、その下、付箋紙と養生テープとなっておりますが、予算様式3の費用の部から選んで頂き記入を宜しくお願ひ致します。
次になりますが、様式5の支払い内容も先ほど説明させて頂きました様式3の費用の部から選んで頂き記入を宜しくお願ひ致します。
下の方になりますけれども、振込口座名義、見積書1が添付されていますが、こちら空欄になっていますので、振込口座名義、支払い銀行支店名、口座番号、振込手数料の記載を宜しくお願ひ致します。
また、2の添付資料ですね、祐徳事務機さんから見積書を取っていると思うんですけど、こちら振込手数料が0円になっておりますので、もし現金支払いでありましたら、現金支払いと記入を御願い致します。以上になります。

(川上専務理事)

はい。ありがとうございます。それでは議案の中味につきまして、ご意見ご質問等宜しくお願ひ致します。

ございませんでしょうか。

(溝口常務理事)

参考資料についております、「ワールドカフェについて」というところなんですが、こちら拝見させて頂きましたが、上から5番目ですね、メンバーの組み合わせを変えながら4人～5人単位の小グループで話し合いを続けることで、あたかも参加者全員で話し合っているような効果を得られる、と書いてありますが、その次を読みますと、ワールドカフェの進め方で、2番目ですね、第1ラウンドでは11～12名の少人数グループに分かれます、とありますが、ワールドカフェというのは大体4～5人くらいでしたほうがいいと書かれていますが、11～12名でする理由が何かあるのでしょうか。質問になります。

(松尾委員長)

ありがとうございます。このワードカフェについての1ページ目については、ワードカフェそのものがどういうものか、という意味で書かせて頂いておりますので、本来だと4人～5人単位の小グループで話をするというのがワールドカフェの意義であるということでそういう風に書かせて頂きました。ちょっと分かりづらかったかなと思います。すみません。第1ラウンドでは11～12名のグループということになっていますが、こちらはテーブルの数に合わせて人数を分けた際にこの人数になる、ということで11～12名の人数というふうに定義させて頂いております。以上です。

(溝口常務理事)

ワールドカフェというのは少人数することで意味があって、4～5人するから色々気軽な感じで話したりできると思うんですね。それを11～12名でやるとなかなかみんなと話したりできないんじゃないのかなと思いますので、再検討を宜しくお願い致します。

(松尾委員長)

はい。ではそれに合わせてテーブルの数等を再検討させて頂きたいと思います。

(溝口常務理事)

あともう一点よろしいでしょうか。事業内容になりますが、新型コロナ対策として例会の席の間隔を取ったりすると思うんですけど、その次に出席者のマスク着用の徹底とありますがこれはお菓子を食べたり、飲み物を飲みながらすると思うのですが、これはマスクの着用の徹底というのは厳しいのではないかと思うんです。次に5番目ですね、30分おきに窓を開け換気を行いますと書いてありますが、このコロナ禍ですので常に窓は開けて頂いたほうが良いと思います。

そしてその次、ドリンクはボトルに名前を書き、取り間違えの起きないようにしますと書いてありますが、それぞれドリンクは持つて頂いたら特に名前を書いてもらう必要はないのかなと思います。

その次のお菓子などはテーブル移動の際は開封済みは全て捨てるようにします、というのも、もちろん個人で捨てて頂いたらいいのかなと思います。

その次ですね「ゴミ箱を各テーブルに準備します」これも特に…新型コロナ対策として書かれていると思いまして特に記載は必要ないのかなと思います。

最後になりますが、当日37.5度以上の方の入場はお断りします、とありますが、厚生労働省でも37.5度という表記は消されていますので「具合が悪い方、熱がある方は入場をお断りします」という内容に変更して頂いたほうが良いと思います。以上です。

(松尾委員長)

はい。ありがとうございます。先ほどの意見に合わせて表記を変えていきます。

(川上専務理事)

はい。ありがとうございます。すみません先ほど私が電波が途切れまして申し訳ございません。
他にご意見等ございませんでしょうか。

(木原執行理事)

すみません、私事ですが、先ほど松尾委員長のところで親知らずを抜かせて頂きましてあんまり喋るなと言われてしまったのですけど、ちょっと一点だけ、今回のワールドカフェのテーマ。意見を言われて変えられているかと思うんですけど、結局最終的に佐賀JCが社会貢献できるという内容に議案上はなっていると思うんですけど、まずそこの確認を。最終的にどうされる感じなのでしょうか？

(松尾委員長)

ありがとうございます。それに関しましては議題選定理由の方を見て頂いたらなと思うんですが、現代のコロナの影響を踏まえてというのはあるのですが、あまりコロナという内容を前面に出すと暗いイメージになってしまって、そちらは議題選定理由にして、タイトルの方は社会貢献でできること、というタイトルにさせて頂いております。現在佐賀JCができる事、佐賀JCとして何ができるのかということを主題として話をして、且つ例えばですがメンバーの方の個人的な事業活動、社業について何か手助けできることが考えたりすることができるのであれば、そちらの方の話を広げていきたいなと思っております。その辺は少しふわっとしているのも、ワールドカフェの色々自由に話が進んでいくというところ期待してはいますが、詳しくは議題選定理由に書いてあるとおりですので参考にしていただければと思います。

(木原執行理事)

ありがとうございます。一つの案として聞いていただければと思うんですけど、議案の目的として会員の交流を深めるというところと、社会貢献活動の内容を考えていくという目的、二つの目的があるのでどちらに重きを置くのかという疑問があるというのと、多分今の流れでいくと、もうちょっと具体的にテーマを絞りこんでいかないとフワッとした感じで終わるのかなというところがありますので、もうちょっと、それも踏まえて詰めて頂ければなと思います。ちょっとすみません分かりづらいところかもしれません。

(松尾委員長)

ありがとうございます。議題に関しましては、二つに明確に分けるかっていうのも検討したりはしましたが、その辺はもう少し分かりやすくなるように更に詰めていきますので宜しくお願ひ致します。

(川上専務理事)

はい。ありがとうございます。
他にご意見等ございませんでしょうか。

(渡邊副理事長)

まず一点目なんですが、ワールドカフェの特徴上、緩やかな状況でいろんな議論をするんだだと思いますが、ドレスコードをわざわざ仕事着と定める理由っていうのが、特に重きを置けることではないのかなと、逆に私服等々に、自由としてしまった方が、もっと自由な環境でいろんな議論ができると思いますので、案内文にも仕事着と書かれていますので、そこは自由にして頂いた方がワールドカフェのスタイルに合うかと思いますので、ご検討いただければと思います。

それともう一点、私は非常に大賛成ではあるんですけども、WEBバージョンになった場合にはアルコールを飲んでいいとなっておりますが、LOMとして例会中にアルコールを飲むということがそもそもOKなのかどうか、松尾委員長の問題ではなく全体的に、こういった時でもありますし、こういった議題もありますので、盛り上がっていいんじゃないかということであればいいと思うんですけど、WEBバージョンになった場合にはアルコールOKというのは一度みんなで議論して頂いた方がいいのではないかと思いますので、みなさんの意見を一旦意見を頂いた方がいいのではないかと思います。意見です。

私は賛成です。

(松尾委員長)

ありがとうございます。ドレスコードなんんですけど、こちらに関しましては元々自由としていたのですが、第二回の常任理事会の意見6の時に、自由とすると枠が無さすぎるので、枠組みを入れてということで、仕事着だとそれぞれの自己紹介の変わりにもなるかなと思いましたので仕事着という風に少し枠を入れさせてもらいました。WEBの件ですが、確かにWEBでとなると色々やり方も変わってくるかと思いますので、その辺は深く意見を入れて煮詰めていきますので、宜しくお願ひ致します。

(川上専務理事)

ありがとうございます。
渡辺副理事長、大丈夫でしょうか。

(渡邊副理事長)

はい。確かに私服となると、色々な格好が許されてしましますので、寝間着もOKと言ったらそういうことにはならないと思いますので、仕事着という形を取られる理由があるのであれば良いのではないかと思います。アルコールについては私は納得なんですが、みなさんのご意見はいかがでしょうか。

(川上専務理事)

WEBでの開催時にアルコールでも飲みながらリラックスした雰囲気でということじゃないのかなと思いますが、私も賛成なんですが、賛成できない方いらっしゃいますでしょうか。島内副理事長、江崎特別顧問、溝

口室長もですね。これに関しては反対の方もいらっしゃるので、今一度検討をお願いしたいかなと思います。よろしいですかね松尾委員長。

(松尾委員長)

はい、わかりました。できれば、反対の理由を伺えるこちらも対処が立てやすいのですが、いかがでしょうか。

(川上専務理事)

それでは島内副理事長。

(島内副理事長)

ちょっとわからなかつたんですけど、WEBでもしつかりセレモニーがありますので、そこらへんはしつかりしないといけないなと思いますので、そこを終えてから、今の議案だとワールドカフェに入る。そこからお酒を持ちながらしても良いのかなと思うので、ちゃんとメリハリをしていただければ私は大丈夫かなと思います。

(川上専務理事)

はい。溝口常務いかがでしょうか。

(溝口常務理事)

私も島内副理事長と同じ意見です。

(川上専務理事)

はい。ありがとうございます。江崎特別顧問いかがでしょうか。

(江崎特別顧問)

はい、例会終わってやつたら良いんじゃないですか。理事長の挨拶と直前の挨拶が終わって、報告とか終わって一回締めて、だったら良いと思うんですけど、WEBだったら酒飲んで良いでしょう、って多分違うと思うんですよ。その後の交流としてワールドカフェをやりますという形であるならば、別にそれは酒飲んでやっても良いと思うけど、例会って、それは多分色々チャレンジしていいって良い時期だとは思うんですけど、その中で酒飲んでも良いよってなっちゃうと、それちょっと違うかなと思うので、そういう形でやりたいって思うんだつたら、例会を一回締めてその後ワードカフェをやるべきなんじゃないかなと思います。以上です。

(川上専務理事)

はい。ありがとうございます。貴重なご意見頂きましたので、これらのご意見を踏まえて、松尾委員長構築をお願いします。

(松尾委員長)

はい。貴重なご意見ありがとうございます。そちらも含めてはつきりしつかり枠組みを作つてから、お酒が飲める自由な雰囲気も作つていきたいと思います。ありがとうございます。

(川上専務理事)

はい。他にご意見ございませんでしょうか。片岡室長。

(片岡室長)

前回の常任で意見と対応の7番、シナリオに司会者の名前がないとあり、対応は記載を行いましたと書いてあるんですけど、実地組織の名前を書いてないのでそこの記入をお願いします。以上です。

(松尾委員長)

実地組織の本文の議案の11の実地組織のテーブルホストのメンバーの組み合わせとはまた別ということでしょうか。

(片岡室長)

松尾委員長が決めている司会だつたりを入れてください、ということです。

(松尾委員長)

わかりました。そしたらシナリオにもこちらのメンバーの名前を反映させるようにします。

(川上専務理事)

宜しくお願ひします。他にご意見ございませんでしょうか。それでは特別顧問、ご意見ございますでしょうか。

(江崎特別顧問)

質問です。このJCメンバーでできる社会貢献とありますがこのテーマについて一回、委員会の中でワールドカフェっぽく話合つたことはありますか？

(松尾委員長)

まだ委員会メンバーで話し合つたことはないです。

(江崎特別顧問)

じゃあそれやってみて、盛り上がるんだつたら良いけど、さつき木原執行理事が言ったみたいに、この内容つてあまりにも漠然としすぎてて、どういう形で始めて良いのかとか、どういう風に進行できるのかとか、始まつた瞬間にみんなどうするどうするで始まると思うので、もうちょっと意見出しやすいテーマで、議論させないと意味がない時間になっちゃうんじゃないかなと。仮に、委員長が考える佐賀JCで社会貢献できること、って何か答え持つてます？

(松尾委員長)

そうですね。できれば、自分としてはまだ具体的ではないんですが、今後のメイン事業に繋げていければなという思いはあります。

(江崎特別顧問)

メイン事業のテーマはこういうところで決めるんじやなくって、委員会で散々議論して決めるべきものじやないかなと僕は思うんです。

だったら自分達がメイン事業にこういうのを持っていきたい、と。そこにつながるようなテーマを今回のゴールに設定するとか、そういう形でやつていかないと、全部その時任せで意見もらって、じゃあこれで作ります、ってなっちゃうんで、じゃあ一回委員会の中でこのテーマ、どういう形でやろうかと、それこそワールドカフェチックに意見出しして、これだったら盛り上がるかもしれないねって検証して設定すべきじゃないかと。さつきの11人でやることにしても恐らく全部絵に描いた餅で議案作成してると思うんですよ。それだと他から出た意見で、意見対応します、対応します、みたいな感じになっちゃうので、そもそもあなたが持っている軸はなんですかという話になってくるわけなんですよ。だから議論と準備をやって、それでこれだったら間違いないねっていう内容で議案を上げてきてほしいんです。以上です。

(松尾委員長)

ありがとうございます。

(川上専務理事)

ありがとうございます。

それでは西村直前理事長ございますでしょうか。

(西村直前理事長)

先ほどの特別顧問の意見に重なるところがございますけれども、2回目の議案提出で、次修正しますっていうのが多すぎるんじゃないかなと。次は審議の議案になるのに、また変わっていくんじゃないかという不安を少し感じましたので、自分はこうやりたいというのももっと持ってても良いんじゃないかなと。それでその返答ができれば良いんじゃないかなとは思います。

意見というか、流れを見てて、まだ配置変えるっていう話は出ていたけど、第一ラウンドが11～12人で一人ずつ自己紹介して案を発表して、となるとまず15分じゃ足りないんじゃないかなと、思いました。それが人数の分配がどうなるかはわかりませんが、せっかく目的が会員交流ともあるので自己紹介はしっかり時間取った方がいいじゃないかと思うし、その辺あと一ヶ月しかないのでそこは詰めて行った方がいいじゃないかなと思います。

それと質問なんですけれども、ワールドカフェを以前秋葉先輩がされた、それをチェックし本人に電話をしてみたって書かれているんですけど、秋葉さんとどんな話をしたのかなと気になったので、よかつたら教えてください。

(松尾委員長)

秋葉先輩には電話をして、なぜワールドカフェを選ばれたのか、ワールドカフェの定義等、ワールドカフェについての話をメインで話させて頂きました。

(西村直前理事長)

秋葉さんからは、ワールドカフェで成功した点、などといった点のお話は聞きましたか？

(松尾委員長)

はい。自由な意見を出してもらうという形でワールドカフェはやった方がいいよ、と。ワールドカフェのメリットについての話はしました。

(西村直前理事長)

その話は、終わった後の傾向なども聞きましたか？

(松尾委員長)

そうですね、話はしました。

(西村直前理事長)

その中で、松尾委員長が考える、終わった後のどう繋げていこうというイメージとかは湧いたのかなと、気になりました。

(松尾委員長)

自分がやるワードカフェと秋葉さんがされたワールドカフェの条件というのは大きく違くて、やはりそこはアレンジをしていかないとダメだなと思いました。

(西村直前理事長)

そういうお話をされて、自分の中でこう思っているとかがあるんだったら、議案に書いておいた方がいいと思う。こういうことをやっていたんだ、という。この議案の中では秋葉さんがこうやってしたこととか出てきてないわけで。こういうことをやられていたとか書いておいて、自分はこう思ったとか書いておけば松尾委員長の思いというのが伝わるんじゃないかと思いましたので、しっかり記入して頂けたらなと思います。会員交流、みんなとしっかり楽しくしたいので、楽しいイメージを持ちながら議案に向かっていければなと思います。

(川上専務理事)

はい。ありがとうございます。それでは最後に理事長から宜しくお願ひ致します。

(古川理事長)

WEBだといいんですが、会場でやるとなった場合、マスクを外す機会が多くなるワールドカフェ。これが本当に適しているのかどうか、そういうところも今考えでもらって、もし他にいい案があればそっちの方向で考え

でもらってもいいのかなと思いますんで、もし会場でやるとなったら徹底的に感染対策を行ってもらいたいと思います。宜しくお願ひ致します。

(川上専務理事)

はい。ありがとうございます。それではこちらの議案は閉じさせて頂きます。

■ 第2号議案 2021年度 5月例会開催計画並びに予算(案)について

青少年・環境委員会

西村室長より説明

2021年度 5月例会開催計画並びに予算(案)について詳しくは畠中委員長より説明させていただきます。

畠中委員長より説明

お疲れ様です。2021年度 5月例会開催計画並びに予算(案)についてです。

一番最初に修正をお願いいたします。予算書の予備費が5%超えておりましたので次回までに5%以内になるよう修正させていただきます。

それでは5月例会はITについて学ぶ例会を行いたいとおもっております。

ITの環境の中子供たちの置かれている現状やIOTのことなどについて講師の方に講演をいただき、グループディスカッションを通してITの事を学びたいと思います。ご意見よろしくお願ひいたします。

(川上専務理事)

ありがとうございます。こちらは初上程となっております。予算がありますので溝口常務より一言お願ひいたします。

(溝口常務理事)

はい、確認をさせていただき先ほど委員長から言われた5%の修正点のほかに2点言わせいただきます。

まず1点目は、前回の指摘を受けて講師定理由書の方にプロフィールと講師選定理由をまとめていただいておりますが参考資料の3にプロフィールがありますので削除の方をお願いいたします。

2点目になりますが、予算書の様式4に費用明細書4と13と14を科目の方が何も書かれておりませんので、右にあります細目をですね、科目の方に移動していただくようにお願いいたします。以上になります。

(川上専務理事)

ありがとうございます。こちら議案の内容にご意見ご質問ある方はお願いいたします。

(溝口常務理事)

畠中委員長お疲れ様です。常任理事会で出た意見と対応の意見の4デスカッションのお題は何を話すですか、の対応として講師の方と打ち合わせとして決めていきたいと思いますと、意見6のレジュメなどありましたらあつたほうが分かりやすいと思います、に対して講師の方に確認いたしますと書かれていますが、参考資料の5備忘

録を確認すると1月22日に講師の方と打ち合わせとされたとのことでしたので、対応の方がされていませんので、現在の進捗の方を教えてください。

(畠中委員長)

溝口常務ありがとうございます。まずデスカッションのテーマについては講師の方と話をさせていただき、その後委員会メンバーと話し合い議案の方につけております。レジュメについても講師の方とお話をさせていただいたのですが、講師の方のITサポート佐賀自体が佐賀でITの事をやっているのでそこぐらいしかないみたいで、さまざまな内容テーマで講演をされているみたいで子育ての親に向けた内容から子供たち本人に向けた講演とか、ITのツールの説明手法などいろんなパターンがあるみたいでこれから先、委員会と先生とでもんでいって最終的にレジュメを作り上げていきたいと思っております。以上です。

(溝口常務理事)

後もう一点、よろしいでしょうか。9事業内容の方なんですが、一番冒頭スマートフォンの普及に伴い、から5行目まで背景の方を書いてあると思いますがこちら削除をされてもいいと思います。意見です。

(畠中委員長)

溝口常務ありがとうございます。確かにそちらに背景が入っておりますので削除して違う書き方をして次回修正としたいと思います。ありがとうございます。

(高橋委員長)

出席者の再確認をさせていただきたいと思います。財政局長原勇太君。

(原財政局長)

はい。

(高橋委員長)

以上です。

(川上専務理事)

ありがとうございます。それでは他に議案の中身につきましてご意見はございませんか。

(吉村副理事長)

畠中委員長お疲れ様です。目的の方を見させていただいたのですが、理解を学ぶことでメンバーの意識向上を図ると書かれておりますがメンバーの意識向上とは具体的にどういうことなのでしょうか。

(畠中委員長)

吉村副理事長ありがとうございます。メンバーの意識向上とは、まず今起こっている青少年の子供たちに起こっているネット社会の現状とか書いておりますが、付き合い方などケースバイケース、こういう時にどうしたらしいよ、などを伝えられるような知識を学ぶことが意識向上につながると思っています。以上です。

(吉村副理事長)

ありがとうございます。背景の方を見させていただいて、柔軟に対応できる能力がそこになると思いますので内容的に大丈夫だと思いますが。

メンバーの意識向上のフォントの統一をお願いいたします。

メンバーの意識の向上というのが、アンケートで具体的にとれるのかどうかについて見せてもらいましたけど、判断が難しいのかなと思いましたのでアンケートは再考していただいた方がいいかと思います。

(畠中委員長)

ありがとうございます。フォントの修正とアンケートを再考して修正して、次回提出いたします。

(川上専務)

他にございませんでしょうか。

(吉村副理事長)

テーマを見させていただいたのですが、今のところ2テーマなのでデスカッションの時間が15分のことなんですが、1つのテーマあたり3分とのことです。時間が配分と発表も10テーブルで10分ということで、1チーム1分で時間が足りないのではないかと思いますのでもう一度対応含めて検討して頂けたらなと思います。意見です。

(畠中委員長)

ありがとうございます。テーマが5つございまして10テーブルございます。各テーブルで1つのテーマで言っていただきます。ですので、5つのテーマをその時間で割るのではなくて5つのテーマを2つのテーブルとして話していただくという形でとらせていただきます。発表の時も同時に発表させていただくような手法となっております。わかりづらくてすみません。

(吉村副理事長)

ありがとうございます。そういう事でしたら納得できましたので議案の方に落とし込むようにお願いいたします。

(川上専務)

他にございませんでしょうか。

(木原出向理事)

細かいですが、講師等出演依頼承諾書の裏の禁止事項の消されているところがあると思いますが、ネットの専門家の方だからシビアというかデリケートになってらっしゃると思いますので、WEBになった場合でもこの方来ていただけるかの確認ができるのでしょうか。

(畠中委員長)

木原出向理事ありがとうございます。WEBの開催のことも併せて先生の方と含めております。緊急事態宣言の場合は来ていただけないと思いますが、今のところWEB開催の場合でも会館に来ていただいてそのままWEBでハイブリットの形で配信する予定です。

(木原出向理事)

ありがとうございます。講師内容をFB等にあげる場合には講師の方に確認をお願いいたします。

(川上専務)

他にございませんでしょうか。それでは江崎特別顧問何かございませんでしょうか。

(江崎特別顧問)

講演テーマは何になりますか。

(畠中委員長)

講演テーマは今、委員会メンバーと先生と一緒に模索中です。その後レジュメを作っていくたいと思います。

(江崎特別顧問)

議案書の背景目的から作成するのと同じように、講演のテーマというはある程度自分たちでこういう内容で話してほしい、あるいはこのテーマだったらこの人なら話せるよねと考えてから講師を選定するのが筋だと思うんですよ。そこを講師と打ち合わせしておりますという時点でそもそもこの例会何話してもらう例会というのも決まってないまま協議にあげちゃっているのはおかしいと思うので、次はしっかりとテーマを決めて上程していただくようにお願いいたします。で、審議事項の1番で質問し忘れていたのですが、WEB開催の判断はどのタイミングで誰がおこなわれますか。

(川上専務理事)

それについては私がお答えします。例会及び事業等のWEB開催の判断については事業前10日をめどに正副の方で一度判断をさせていただく予定です。

(江崎特別顧問)

かなり不安定な時期ではあるので、お願いですが、こういう状況ですが理事長どうしましょうというのは、なしにしたいただきたいと思います。本当だったらこの理事会で議案の中でこういう事情になつたらWEBに切り替えます、というのも含めて協議すべきだと思います。その延期するかどうかという責任を、理事会で決まったからという形でみんなで責任を分担しないと毎回決断をさせるのは非常に酷なことだと思うし、あくまでも事業や例会はみんなで作り上げていくものなので、判断基準がどこなのかというのを明確に記載して頂きたいのでよろしくお願いします。今後の事業に関しても統一した形でそういうのを入れていくべきだと思いますのでそこは正副で話し合って決めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

最後にもう一度委員長に言いたいのですが、講師と合って話すのは当たり前なので、協議できる議案の内容が少ないのでもっともっと委員長もそうだし、委員会メンバーでもこのテーマに対して理解を深めてこういう風に動いたらこういう風にやりたいんだというのが、そういう思いではなくて行動のもとで作り上げていただきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。以上です。

(川上専務理事)

ありがとうございました。それでは西村直前理事長何がありますか。

(西村直前理事長)

畠中委員長お疲れ様です。自分が思ったのが、ITに関して子供たちがトラブルになったらというイメージはできましたが、俺としてはもちろん悪い部分があるかもしれないが、裏を返せばいいことがたくさんあって、仕事につながったりとかあると思うので、悪いところももちろんわかるけど、例えば、中学生から稼げることもできるんじゃないかなといった新しいことを聞けたらなと思います。せっかくプロフェッショナルの方に話を頂くので。自分たちの子供たちにもITを使ってこういう仕事あるよといったことを子供たちに説明できるようになると勉強になるのかな、そしてこの知識が地域の方たちに発信できるような、そのような例会になれたら、と検討いただければなとおもいます。楽しんで事業構築していただければとおもいます。

(川上専務理事)

ありがとうございました。それでは最後に古川理事長よりお願いいたします。

(古川理事長)

畠中委員長お疲れ様です。ITという広い分野の中で今何をするのか明確に見えないので、そこをもう少し講師の先生と話し合ってもらって何について話し合うとかをしつかり決めたらグループディスカッションのテーマなどももっと充実していくのではないかと思いますので、しつかり話し合って準備の方をよろしくお願ひいたします。

(川上専務)

それではこちらの議案をどじさせていただきます。

【討議事項】

■ なし

【報告事項】

■ 第1号議案 2021年度 2月例会開催について

未来に繋がるまちづくり委員会

■ 第2号議案 2021年度佐賀青年会議所シニア・クラブ総会及び懇親会について

未来に繋がるまちづくり委員会

■ 第3号議案	2021年度 厄入厄晴祈願について	会員研修・ビジネス委員会
■ 第4号議案	2021年度仮会員研修について	会員研修・ビジネス委員会
■ 第5号議案	2021年度新入会員募集について	会員研修・ビジネス委員会
16. 次回開催日程について		
・第3回常任理事会	2月17日(水)19:30～	総務委員会
・第3回理事会	3月2日(火)19:30～	
17. 審議事項決定の確認		
18. 出席者の再確認		
19. 監事講評		
		監事 音成 信介 君

はい。皆さんお疲れ様です。理事会お疲れ様でした。今回も残念ながらWeb開催というかたちになったんすけれども、議案数が少ない中でもスムーズな進行で時間よりも早く終わった事は良かったのかなと思っています。今日は井内監事も相談させてもらってご欠席だったので、私の方から大きく二つ言わせて頂きたい事があります。まずは悪い方から言わせて頂きたいと思います。

まずは審議通過の分の議案は良いとして、協議についてになるんですが、再度、委員長の皆さんに対してですが、今後の議案作成に対してですけれども、江崎特別顧問や西村直前理事長が言われていたんですけれども、あいまいな事が多い。委員長自身がしっかり筋を持っていない事が多かったなという風に感じています。それが僕の正直な所感です。それってどうするのって、委員長たちがこういう状況ということは室長や副理事長がしっかり把握できていない事に尽きると思うんですね。そこの100パーセント委員長任せにして行くということではなく、室長や副理事長というのはそういった経験を通じて、今その役職についているわけなので、こういった議案だったら通る、または通らないというのを体験しているはずなので、そこを指導しているはずなのです。つまりはそこがチェックができていないという事だと思います。そちらの過程は皆さん大変な思いをされたり時間を使っていただいているとは思うんで、せっかく頑張っていることについて言わることは悔しいんだと思います。これは委員長の責任ではなく、室長、副理事長を含めたライン全体の責任だと思います。あいまいなところがポイントとして委員長なにがしたい、というところなので、皆さん突っ込みます。まだ例会レベルの話だったら本当に事業をしていくということについて、自分がなにをしたいのかを明確にしてそこを委員会メンバーとしっかりと作っていくというのが大事だと思います。まだ遅くはないので委員長の皆さんには基本方針をしっかりしていただいて、その中で自分がなにをしたいのか、その辺りを徹底して頂ければなと思っています。

もう一点、今度は良いことは皆さんの中で議論が出来てきたことです。Web会議にも慣れて来たのかなと、去年からすれば成長かなと、昨年の一回目は誰も意見とか出ず、どうすればよいかわからなかつたので、これが佐賀

青年会議所の成長かなと思っています。今後も引き続きこの様な時期だから出来ることを見つけて皆で頑張って頂ければなと思っています。

20. 閉会の辞

副理事長 園田耕太郎 君

議事録署名人

島中 隆喜

舟久津 和彌